

# 「審査登録制度の課題及びその解決法」の特集にあたって†

福丸 典芳\*

## 1. 特集の経緯と背景

審査登録制度が開始されてすでに20年を経過している。しかし、ISO 9001の認証登録組織数は、2006年をピークに減少傾向を示している。一方、審査の在り方についても組織からいろいろな意見が出されている。これに伴って経済産業省が2008年7月に『マネジメントシステム規格認証制度の信頼性確保のためのガイドライン』を発行し、これに対応するため、審査登録制度にかかわる機関が委員会を設置して検討を重ね、2009年8月に「MS信頼性ガイドライン対応委員会報告書」を発行した。これに伴って現在各機関でこれらの報告に基づく改善活動を行っている。

審査登録制度の信頼性向上のためには、有効性審査の必要性が重要であるとされている。このため、「QMS有効活用及び審査研究部会」では、第1期の研究活動に引き続き、第2期の研究活動を完了し、2010年4月に研究報告書を発行した。この後、引き続き2010年6月から第3期活動では、6つの研究課題に取り組んでいる。

この第3期活動の視点は、組織とともに行う審査の在り方、審査員の専門性の定義、審査とコンサルの領域、組織のQMSの再設計などに関することである。特に審査に関しては、審査員の力量に左右されることが大きいので、審査員の力量に関する規格であるISO

17021の改定内容についても考慮した。これらの研究活動の成果を審査員、組織及び第三者認証制度に関係する各機関へ提言し、審査登録制度の発展に寄与することが重要であるとの考え方から本特集を組むこととした。

## 2. 本特集の構成

本特集では、技術専門家の立場からマネジメント認証制度の課題と解決法に関する提言、及び「QMS有効活用及び審査研究部会」の第3期研究活動を行っている6つのWGの研究活動状況を解説してもらう。

### 2.1 技術専門家からの提言

「マネジメントシステム認証制度の課題と解決法」審査登録制度の基準開発及び運営管理に携わっている経験をもとに、現在マネジメントシステム認証制度が直面している課題を明確にし、その解決法を論じるとともに、ISO/IEC 17021の改定内容を紹介している。

### 2.2 各WGの研究活動の概要

#### ① WG1：適合性を証明する審査の研究

ISO 9001認証審査の問題点の一つに、「不適合を指摘すること」に重点が置かれ過ぎているということが指摘され、認証審査を「不適合を指摘すること」から「適合性を証明する審査」に変えたいという課題を取り上げ、審査の場で必要な審査員の能力として、システム(仕組み)を「構築する」能力、出来上がったシステムを「運営する」能力、システムの不備がある場合

†平成23年2月23日 受付

\* (有)福丸マネジメントテクノ

連絡先：〒206-0802 東京都稲城市東長沼1002-6(勤務先)

に「改善する」能力について論じている。

## ② WG2：審査員の専門性による効果的な審査の研究

審査では、業種業態に応じた品質保証活動に関する組織の能力を適切に評価することが必要であり、そのためには専門性に関する知識が要求される。また、審査の場ではコンサルティングは禁止されており、審査とコンサルティングの領域がどこにあるのかが明確にされていないので、これらに関する事項の解決法について事例分析を通じて論じている。

## ③ WG3：受審組織のQMS大改造への提案

QMS運用が形骸化している要因の一つとして、ISO 9001に記載されている序文をどのように理解し、QMSを組織のマネジメントのどのような位置づけにすればよいのかについて、序文に記載されている重要事項及び品質マネジメントの原則に関するチェックポイントを提起している。また、QMS運用の形骸化の問題点を6つの視点で抽出し、それらの解決策について論じている。

## ④ WG4：次世代対応のQMS構築と審査技法の研究

次世代対応のマネジメントシステムを“ITの活用によりグローバル対応ができるシステム”と定義し、マネジメントシステムの構築のポイントとして、業務

プロセスにおけるKPIの設定、IT化における課題を明確にし、これらを考慮するため、規格にどのような要素を取り入れるべきかを論じ、これに基づいたシステム改善について論じている。

## ⑤ WG5：マネジメントの原則から見た統合審査技術の研究

組織は、品質・環境・情報・安全・コンプライアンスなどを考慮したマネジメントシステムを構築しており、これらを構築している組織審査の際には、審査員には各ISO規格の意図を融合させた確認・評価する審査技術が要求される。このような審査を“社会に役立つハイブリッド審査”と定義し、ハイブリッド審査による審査技術、ハイブリッド審査のために必要な審査員の基本知識について論じている。

## ⑥ WG6：経営に貢献するISO 9001推進の研究

ISO 9001を取得している企業から脱会する企業が増え、さらに新たに取得する企業も停滞気味にあり、トータルの登録数は減少傾向にあるという事実認識から、ISO 9001の運用が、経営者が求めている目的にマッチしていないことであると提起している。経営者の経営課題は売上高向上や収益性重視であることを踏まえ、品質とコストを重視した運用にISO 9001を変えていく必要があることを認識し、経営に貢献するISO 9001推進の方法論を論じている。